



大山 令司 さん



木村 誠 さん

交通指導員が変わりました

長年、交通指導員として地域の交通安全にご尽力いただいた大山令司さんが、2月28日で退職されました。大山さんは44年間にわたり、登校時の見守りや交通安全指導を通じて、子供達の安全に貢献していただきました。

また、後任として3月1日から木村誠さんが着任されました。子供達が交通事故にあうことなく、元気で学校に登校できるよう、活動していただきます。



第109回春の陶器市での活動の様子

益子芳星高校と学校運営協議会が文部科学大臣表彰

学校と地域が連携・協働して地域学校協働活動を一体的に推進しているとして、益子芳星高校と同校の学校運営協議会が文部科学大臣表彰を受けました。

同校は、町と連携して行っている「ましこ未来大学」での活動や、陶器市での会場案内や募金・清掃活動など、地域住民との交流やボランティア活動などに積極的に取り組んでおり、学校と地域が双方向の関係を築き活動していることなどが評価されました。

日本遺産 「かさましこ」について

「かさましこ」兄弟産地が紡ぐ「焼き物語」が日本遺産に認定されから今年で5周年を迎えます。日本遺産とは、地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを文化庁が認定するものです。今月から、かさましこのストーリーを構成する文化財を益子町と笠間市からそれぞれ一件ずつご紹介していきます。

【益子町】

○地蔵院本堂

国指定重要文化財に指定されている

地蔵院本堂は、建久4年（1193年）に尾羽寺の阿弥陀堂として宇都宮家第三代朝綱によって創建され、その後永正年間（1504～1521年）に宇都宮氏によって再建されました。本堂は入母屋造りであり、屋根は元々茅葺でしたが、現在は柿葺き型銅板葺きになっています。堂内にある春子には快慶一派作と言われる阿弥陀三尊像（県指定）が安置されています。堂内には他に尾羽寺本尊の阿弥陀三尊像（県指定）も安置されています。

○**楞嚴寺**
（山門、木造千手觀音立像）
楞嚴寺は、宇都宮氏一族である初代



楞嚴寺山門



地蔵院本堂

笠間城主、時朝に始まる笠間氏の菩提寺です。寺内には時朝の名前が刻まれた木造千手觀音立像（国指定重要文化財）が納められています。また入口に佇む山門（国指定重要文化財）は、室町時代中期の建立と推定されており、切妻造りの重厚感ある茅葺屋根が特徴的です。